

2020年2月6日

丸紅株式会社

LNG 船の長期傭船事業向けプロジェクトボンドの発行について

丸紅株式会社(以下、「丸紅」)は、LNG船の保有・運航事業について、関連会社を通じて、約3.8億米ドルのプロジェクトボンド(以下、「本プロジェクトボンド」)を発行しました。

本プロジェクトボンドの発行は、丸紅と韓国SK海運の合弁会社にて保有・運航するLNG船2隻(以下、「本LNG船」)による、ガス・石油会社である仏国トタルの英国法人向け長期傭船事業を対象としたものです。既存融資からの借換による調達金利の改善及び資金効率の向上を目的に実施し、この資金により、プロジェクトファイナンスで調達していた既存融資を期前弁済しました。本LNG船は、最長30年間の傭船契約に基づき、2017年及び2018年より運航を開始しており、LNG取扱高が世界第2位であるトタルのLNG輸送の一翼を担う船舶として、順調に稼働しています。

さらに、本プロジェクトボンドは、国際的に認められた信用格付け機関により非公開で格付けされ、前半の金利は変動、後半の金利は固定、という特殊な「フリップノート」構造となっている特徴があります。この「フリップノート」構造をもつ米国証券法 4 条(a)(2)*に基づくプロジェクトボンドは世界初であり、シティグループ・グローバル・マーケッツ・インク及び SMBC 日興証券を募集代理人とし、丸紅が主導して組成されました。

丸紅は、LNG 船保有・運航事業を安定収益型事業と位置付け、現在 16 隻の LNG 船を大手海運会社と共同で保有・運航しております。丸紅は、多様な資金調達方法を活用しながら、今後も LNG 船の保有・運航事業を通じて、他の化石燃料よりも環境負荷の低い LNG の安定供給に貢献していきます。

*米国証券法 4 条(a)(2): 私募債発行における免除規定。証券の販売を手配する代理店を介し、発行者によって投資家へ(債務)証券の直接的な販売がなされるもの。

< 関連プレスリリース >

2013年4月15日

韓国 SK 海運と共同でトタル向け新造 LNG 船 2 隻の長期傭船契約を締結

<https://www.marubeni.com/jp/news/2013/release/00029.html>

Marubeni



写真:トータル向け長期傭船中の 180,000m³ 型 LNG 船 “SK AUDACE”

以上